



恕の心



令和4年1月11日 校長 廣瀬 真樹

笑顔(えガオー)あふれ何でもトライする2022年に!!

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。皆さんは、新しい年をどのような気持ちで迎えましたか。「今年こそは」と決意を新たにした人も多いことでしょう。ちなみに今年**は寅年**です。



「えガオーあふれ何でもトライする2022年に」
新年からダジャレで大変失礼しました……………

「笑顔は力」は本校の生徒指導だよりの題名です。実際、科学的にも笑顔には免疫力を高める効果やポジティブな思考にする効果、脳の働きを活発にする効果があるそうです。また「何でもトライする」と書きましたが、「トライ・アンド・エラー」という言葉もあります。(「try and error」は正しい英語ではなく「trial and error」が正しい言い方だそうです)日本語で言う「試行錯誤」という意味です。「興味のあることには積極的に取り組むことが大切で失敗を恐れずやりなさい」という時によく使います。笑顔を忘れず、失敗を恐れず、積極的にチャレンジできる自分の可能性を広げられる年に皆さん、ぜひしていきましょう!



映画「ペイ・フォワード」

「今日から世界を変えてみよう」
この難題に、少年が出した前代未聞の答えとは…?



11歳の少年トレバーが“世界を変える”ために考えた奇想天外なアイデア。それは、他人から受けた厚意をその人に返すのではなく、まわりにいる別の人へと贈っていく“ペイ・フォワード”。やがて、少年の考えたユニークなアイデアが広がり、心に傷を負った大人たちの心を癒していく……。

私事ですが、20年前に見た映画でとても印象に残っている映画です。

この映画では主人公の少年が教師に「自分の手で世界中の人々を幸せにするには何をしたらいいと思う?」と聞かれます。それに対し少年は「まず自分が知らない誰か3人に優しくする。そしてそれを受けた3人はまた他の知らない3人に優しくする。そうしていけば世界中は幸せで満たされる」と答えます。つまりひとりの人が3人に何か善いことをし、善いことをされた3人が、またひとりひとり他の3人に善いことをする。3人が9人に、9人が27人に、27人が81人に、81人が243人に…どんどん増えていって「善意の連鎖」が起き、その結果、世界がよりよく変わるという考え方です。

ペイ・フォワードとはこの少年が言う「人から受けた善意をその相手とは違う誰かに広げていく」ことを表します。人から受けた善意をその相手へ返す「ペイ・バック」とは違い、他の誰かに恩を先送りするのです。直訳で「先に払う」という意味のペイ・フォワードは、日本ではあまり聞きなれない言葉ですが、例えばアメリカでは小さい頃から当たり前のように教わることでもあるようです。

日本では「恩送り」という言葉があります。これは「誰かから受けた恩(めぐみやいつくしみ)を別の人に送ること」です。自分が受けた恩を今度は自分が別の人に送り、そして送られた人はまた違う人に送る。そうして世の中に恩がぐるぐる回り巡っていくという意味です。「恩送り」は江戸時代にはすでにあつた言葉のようで、親切にしてくれた人へ気持ちを返そうにも方法がない時に、他の誰かへ同じように恩を送ったと言われています。

この『ペイ・フォワード』を「きれいごと」と思う人もいるかもしれませんが、でもこのペイフォワードの精神は誰の中にもあることのような気が私はします。この“ペイフォワードの精神”こそ人と人との結びつきを強め、「思いやりの連鎖」を生んでいくのではないかと思います。おすすめの映画です。

